

▲ 宮城沖地震で倒壊したコンクリートブロック塀

グラツとききたら

危ない!

コンクリートブロック塀

昭和五十三年の宮城県沖地震では、地震による死者二十七人のうち、コンクリートブロック塀や石塀の倒壊による犠牲者が十七人にもほり、施工の仕方によって、塀は非常に危険なものであることを証明しました。

私たちは、塀ぐらい、と安易に考えがちですが、道路に塀が倒れ

ると、死者が出るばかりでなく、避難や救助、消火活動の障害にもなってしまう。

ブロック塀や石塀は、建築基準法の中に構造規定があり、これに従って、施工しなければいけません。

塀を築造しようとする人や施工者は、この規定を守り、地震に

して安全な塀を造るようにしましょう。

また、ブロック塀や石塀は、できるだけ高さを低くして造るようにして、なるべく生け垣や鉄柵、ネットフェンスなどにした方が地震に対して安全です。

ブロック塀などを築造する場合は、次の点に注意しましょう。

★業者を選ぶ

ブロック塀などを築造する場合は、信頼できる業者（ブロックの専門業者）に工事を依頼するようにする。

★高さは2.2m

ブロック塀の高さは2.2m以下とする。また、石塀の場合には1.2m以下とすること。

★鉄筋を入れる

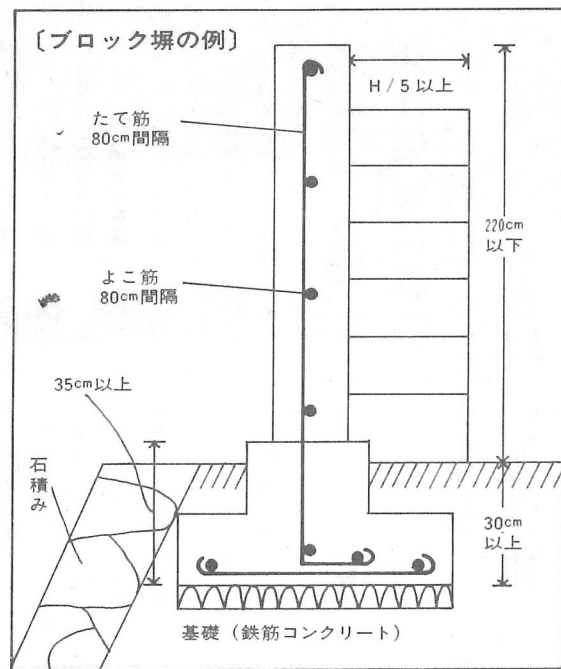
鉄筋は、たてよこ80cm間隔にして、塀の頂上まで入れる。（かぎがけにすること）

★控壁をつける

塀の長さが4m以下ごとに、控壁をつけること。

★必ず基礎を

コンクリート塀などを造る場合には、必ず基礎を設けること。



取り除こう 危ない枯松

ここ数年、松くい虫が猛威をふるい、いたる所に立枯れが見受けられます。

このまま放置しますと、やがては倒れ、附近に迷惑をおよぼします。とりわけ、道路きわの立木は、自動車の震動などで、思わぬ時に倒れこむ恐れがあります。

今一度、あなたの所有地を確認し、危険なものは、早目に伐採しましょう。

なお、伐採した被害木を、そのまま移動することは禁じられていますので、焼却するか、薬品による処理をしてください。

落葉を 取り除こう

色づいた木の葉が風に舞うさまは、風情があつていいものですが、落ちた後の始末は、おっくうなものです。

しかし、道路上の落葉は、時としてスリップ事故の原因となり、側溝をつまらせ、生活環境を著しく悪化させます。

お互いに、気づき次第、こまめに取り除き、安全で快適な生活の保全に努めましょう。

